

本市の特性と他都市との比較による本市の特徴

(1) 本市の特性

第五次鹿児島市総合計画（H24年度～33年度）では「総合計画期間内のまちづくりを考える上で生かすべき本市の特性」として以下の事項を示している。これらは本市の全般的な特性として、今後の都市づくりに反映させていく必要がある。

- 愛着や誇りにつながる個性あふれる歴史や文化
- 東アジアに近接する陸・海・空の交通結節点
- 多彩で豊かな自然と多様な都市機能の集積

(2) 都市的観点からみた本市の特徴 ※ 三大都市圏を除く中核市:36都市との比較

国土交通省の「都市モニタリングシート（H30年公表）」を基に、都市計画及び交通等の50項目のデータについて、他都市との比較を行い、本市の特徴を整理した。

○コンパクトな市街地

本市における市街地（人口集中地区（DID）、市街化区域及び用途地域）の人口密度は、他都市と比較して高く、また、日常生活サービスの徒歩圏充足率や、公共交通の利便性が高い範囲にある住宅の割合が比較的高いことなどを合わせると、本市はコンパクトな市街地を形成しているといえる。ただし、市街地内の人口密度は低下している。

○計画的に整備された市街地

本市においては、住宅団地をはじめとする住宅地が計画的に整備されてきた結果として、市街地面積に占める低層住居専用地域の割合が他都市と比べて非常に高い。その一方で、大きな商業地域を有するなど、メリハリのある土地利用が行われている。

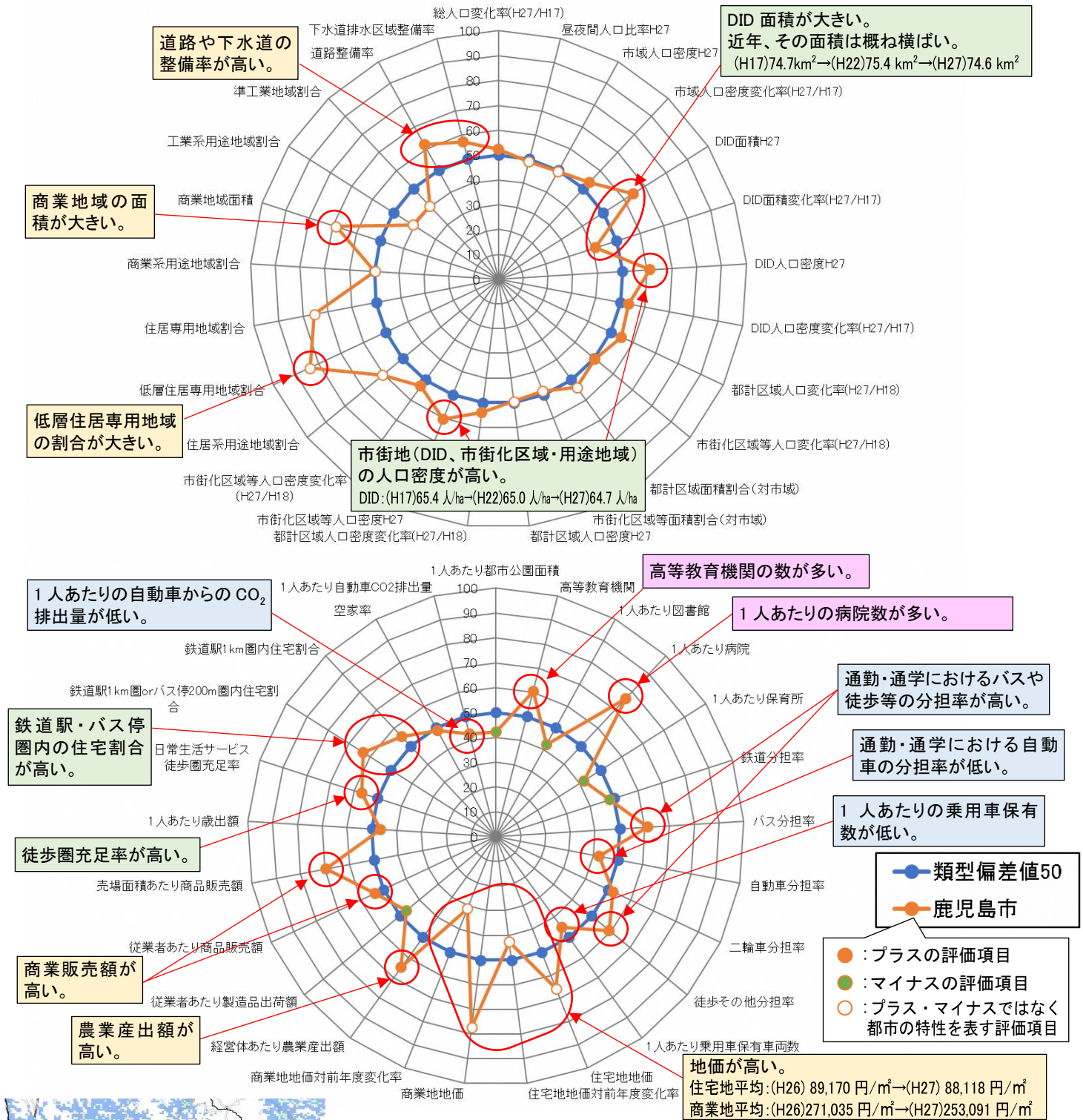
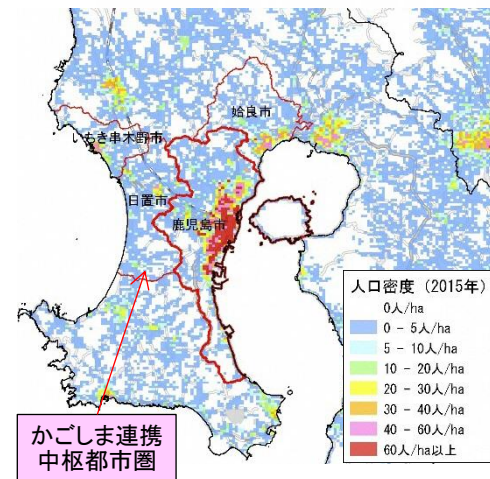
また、道路や下水道の整備率が高いなど、都市の整備は比較的進んでいる。ただし、1人あたりの都市公園面積、図書館、保育所は他都市と比べて少ない。この他、地価が高く、売場面積や従業者あたりの商品販売額、経営体あたりの農業産出額が高くなっている。

○利用頻度の高い公共交通

通勤・通学の主な交通手段については、他都市と比べバスや徒歩等がよく利用されており、自動車の分担率は低くなっている。また、1人あたりの乗用車保有数や自動車からのCO₂排出量が低くなっている。

○都市機能が集積された広域的な拠点 ※ 県内との比較を含む

本市は県内市町村の中で圧倒的な人口の集積があり、大学等の高等教育機関や病院といった施設が多く立地し、商業機能の集積も高いなど、広域的な拠点性を有している。このため、本市を圏域の中心都市として地域の一体的かつ持続的な発展を図るため、周辺市と「かごしま連携中枢都市圏」を形成している。



【鹿児島県内における集積度ランキング(上位3市町村)】

順位	市町村	面積・人口		施設		
		行政区域面積	人口	DID面積	大学等の高等教育機関	病院
1	薩摩川内市	7.4%	鹿児島市 36.4%	鹿児島市 60.3%	鹿児島市 64.3%	鹿児島市 38.5%
2	霧島市	6.6%	霧島市 7.6%	霧島市 9.2%	霧島市 21.4%	鹿屋市 6.9%
3	鹿児島市	6.0%	鹿屋市 6.3%	鹿屋市 9.1%	鹿屋市 7.1%	霧島市 5.8%

順位	市町村	工業		商業		
		製造業従業者数	製造品出荷額	サービス業従業者数	商品販売額(小売業)	小売場面積
1	鹿児島市	17.3%	鹿児島市 18.2%	鹿児島市 53.0%	鹿児島市 41.3%	鹿児島市 32.0%
2	霧島市	15.6%	霧島市 15.3%	霧島市 6.3%	霧島市 8.8%	霧島市 10.0%
3	薩摩川内市	10.6%	志布志市 10.5%	鹿屋市 5.4%	鹿屋市 7.7%	鹿屋市 7.1%